

# 大学教育入門セミナー

## 1. 授業の目的（授業のねらい）

大学教育入門セミナーは、学生が大学での生活と主体的な学習活動が始めるに当たっての基礎的知識・技能を修得すること、所属する学科・課程の教育内容や将来に向けてのキャリア形成について理解すること、及び大学教育の基礎となるライティング等の知識・スキルを、協同学習などのアクティブラーニングによって学ぶことを目的としている。

## 2. 到達目標（育成する資質・能力）

- ① 学問の意義、大学における学習方法、人生設計の指針等を理解する。
- ② キャンパス内の施設や図書館の活用方法、インターネットによる情報探索方法等のスキルを獲得する。
- ③ 所属する教育プログラムの学問領域について、基礎的な知識を身につける。
- ④ 解決すべき課題（できれば地域課題）に対して的確に情報を集め、現状を多角的に検討し、説得力のある解決策を導き出すことができる（課題発見力、情報収集力、論理的思考力、課題解決力）。
- ⑤ 他者との協同作業において、リーダーシップや協調性を発揮し、より高次の結論に至ることができる（リーダーシップ、コミュニケーション力）
- ⑥ 自身の考えを論理的な日本語の文章によって正確に他者に伝えることができる（ライティングスキルをはじめとする日本語のコミュニケーション能力）。
- ⑦ 経験から多くを学ぶことができ、自分自身で知識や考え方を発展させることができる（生涯学習力）。

## 3. 授業内容・方法（シラバス）

この科目では15回の授業を通じて、下記のユニットで構成される。

- ① 学科紹介、学生自己紹介、教員紹介、施設案内、図書館情報検索ガイダンス、キャリア形成の指導
  - ② 文章及びデータ読解と課題発見
  - ③ 協同学習による解決策の構築とプレゼンテーション
  - ④ パラグラフ・ライティングの基本的技能の指導とレポート作成
  - ⑤ 協同学習によるレポートのリバイス
- なお、それぞれのユニットは2～4回の授業によって構成される。

## 4. 成績評価方法

- ① 対象となる課題
  - a. グループワーク
  - b. プレゼンテーション
  - c. レポート（リバイス前）
  - d. レポート（リバイス後）
- ② 学習プロセスの評価  
グループワークの評価をするかしないかの判断、及び出席状況や平常の学習態度を学習プロセスとして考慮するかしないかの判断は科目担当者に委ねる。
- ③ 協同学習の評価  
上記b～dの評価をグループ単位で評価するか、個人単位で評価するかは科目担当者に委ねる。
- ④ 学生による相互評価  
学生が学生に対して行った評価（ピアレビュー）を成績として考慮するかしないかの判断は科目担当者に委ねる。

## 5. 参考資料

「大学教育入門セミナー」部会の検討結果、及び詳細なシラバスの記入内容例については、下記URLを参照のこと。

URL: <http://www.miyazaki-u.ac.jp/cess/undergraduate/doc/daigaku.pdf>